



現

在、佐野市消防本部には約150人の職員が勤務しており、女性消防職員は4人です。その中で、平成23年に初めて採用された女性職員が谷津さんです。

最近では、子育て世代への救急講習が増えており、講習では、子育て真っ最中の自身の経験を生かして、乳児・小児に対する具体的な応急手当の方法などを紹介し、心肺蘇生法やAEDの取り扱い方法などを広める工夫をしています。救急について身近に感じることができ、受講した保護者に好評です。

谷津さんは、学生時代に救急車の同乗実習があり、女性の傷病者を搬送する機会があったそうです。その中で「災害現場であつても、女性がいることで安心感を与えられる。消防士になって救急救命士であること、女性であることを生かしたい!」と思ったことが、消防士を志し

キラリ話題の人

みき
谷津 美希 さん

佐野市消防本部警防課勤務
救急救命士
二等無人航空機操縦士



▲救急講習の様子

仕事も子育ても全力投球

たきっかけだそうです。

救急現場では、救急車に乗せられ泣いていた小さな子どもが、谷津さんの言葉に耳を傾け、安心した様子になったことがあつたそうです。女性消防士の必要性を改めて感じたことでしょう。

中学生の時に始めたソフトボールは、社会人の今も継続して楽しんでいます。県で優勝し全国大会へ出場したこともあるそうです。休日は、3歳と5歳の息子さんとの遊びに全力投球。「今しかないから」と愛情を注いでいます。「家族や職場の温かい理解と協力があるから両立できています」と周りの人への感謝も忘れません。

また、後輩女性職員へも良き道しるべになりたいと日々努力をしています。愛とバイタリティーあふれるすてきな女性です。

(市民記者 高松伸子)

ようこそ 市長室からこんにちは!

早いもので今年も残すところ一カ月となりました。毎年、12月になると一年の早さに驚きますが、今年はコロナによる制限も解除されたため、数年実施できなかった行事や会議の開催が戻ってきたため、より忙しく感じたのかもしれない。

さて、今年を振り返りますと、年初には大変うれしいニュースがありました。一千年の歴史を誇る本市の伝統工芸「天明鋳物」が特許庁の制度である地域団体商標へ登録されました。登録によるブランド力向上を生かし、今後も天明鋳物をしっかりPRしていきます。また、現在、県指定となっております天明鋳物生産用具についても、国重要有形民俗文化財への指定に向け、しっかりと進めてまいります。

7月には、本市にとって大きな一歩となる条例2つが施行されました。「健康長寿推進条例」と「シニア地域デビュー条例」です。健康長寿推進条例は、市民の健康づくりに対する意識を一層高め、全ての方が

より元気になれるような環境をつくり、生涯心身共に健康に暮らせることを目指しています。シニア地域デビュー条例はシニア世代が生きがいを持つていきいきと暮らせる地域社会を目指すものです。これからも周知と浸透に努め、多くの市民の皆さんに理念が広がるようにしていきます。

10月には、2028年ロサンゼルス五輪の追加競技にクリケットが承認されました。国内初となる国際規格を満たした、佐野市国際クリケット場があり「クリケットの聖地」を目指す本市にとっては、大変うれしいニュースです。今後、日本でのクリケットの認知度が上がり、競技人口も増えることで、本市クリケット場の活用がより一層広がり、海外との交流も今まで以上に盛り上がることを期待しております。

新型コロナウイルスやインフルエンザが再び増加傾向にある中で、忙しい年末を迎えます。皆さん、体調に気を付けてお過ごしください。



佐野市長
金子 裕



水面を滑るように進む爽快感
ボートフェスティバルが開催されました！

栃木県ローイング協会による「ボートフェスティバル」が船津川町内の渡良瀬川練習場にて開催されました。県出身のオリンピック選手や熟練の経験者の指導を受けながらボート体験を楽しむイベントで、少しでも多くの方にボートの魅力を知ってもらい、競技人口を広げることを目標としているそうです。

ボートに乗った参加者は「呼吸を合わせてオールをこぎ、船が進むのが気持ち良い」「川からしか見られない景色がある」と話し、体験後にふるまわれたバーベキューやホットドッグをおいしそうに食べる姿も見られました。

協会では、小学校5年生～中学校3年生を対象としたジュニアクラブのメンバーを募集中です。未来のオリンピックを目指し、ボートという新しい種目に挑戦してみるのも良いのではないのでしょうか？
 (市民記者 小林春美)



- ①「おかえりなさい！」体験から戻るボートを迎えます
- ②陸上トレーニングマシンのローイングエルゴメーター
- ③佐野高や東高のボート部員による指導・同乗も
- ◀栃木県ローイング協会



夜の観光をしてみませんか？
さのあかり～彩る水面と参道～

新たな「夜の佐野市観光」として観光スポットライティングを実施しました。今年度は調査研究と実証実験として、出流原弁天池・磯山弁財天と唐沢山城跡・唐澤山神社の2カ所で行いました。

出流原弁天池・磯山弁財天でのライティングは、11月10日～19日の金土日の延べ6日間行い、弁天池へのライティングでは、一部カラーを織り交ぜることで幻想的で印象的な光景が創出されました。

唐沢山城跡・唐澤山神社は、11月25日～12月3日の土日の延べ4日間行う予定です。紅葉をライトアップするデザインとなっていますので、ぜひご覧ください。



今年で47回目！
たぬまふるさと祭り

10月29日(日)、佐野市国際クリケット場において「第47回たぬまふるさと祭り」が開催されました。

会場では、飲食などの出店や、お化け屋敷、ハロウィン仮装での写真撮影などが行われていたほか、毎年恒例のASOレンジャーの登場や市の地域おこし協力隊が地域の魅力発信を行いました。

抽選会では多くの方が参加し、当選者が発表されるたびにたくさんの歓声が上がりました。

また、会場ではクリケットの各国親善大会である「エンバシーカップ」が行われており、祭りの参加者は選手たちにエールを送っていました。